

議会広報広聴委員会

令和 6 年 6 月 10 日 (月)
午後 1 時 30 分 から
第 4 委 員 会 室

- 【出席者】村武委員長、村木副委員長、
肥後委員、大谷委員、三浦委員、沖田委員、川上委員、上野委員、
西田委員、川神委員
- 【議長団】笹田議長
- 【事務局】下間局長、村山書記、小寺主任主事
-

議題

- 1 はまだ議会だよりminiについて……………資料1
 - (1) 第30号掲載内容及び原稿担当
 - (2) その他
- 2 はまだ議会だよりVol. 74について……………資料2-1, 資料2-2
 - (1) ページレイアウト
 - (2) 掲載記事及び原稿提出締切
 - (3) その他
- 3 地域井戸端会について……………資料3
 - (1) 今後の流れの確認
 - (2) その他
- 4 はまだ市民一日議会について……………資料4
 - (1) 実施概要及び開催日決定
 - (2) チラシの確認
 - (3) その他
- 5 ぎかいポストに寄せられた意見の振り分けについて……………資料5
 - (1) 意見と振り分け先の確認
 - (2) その他
- 6 その他

地域井戸端会～皆さんの声を伺います～

今後のスケジュール

- | | |
|-------------|---|
| 6月17日 全員協議会 | 報告書の共有 |
| 6月 定例会議期間中 | 報告書を基に3常任委員会にて協議し会場への回答
を作成（重要と思われるものについて協議） |
| 7月2日 全員協議会 | 委員会での協議結果の共有 |
| 7月初旬 | 各会場に回答を掲示（全体同一の回答）
ホームページにも回答を掲載 |

※6月17日の3常任委員会で重要と思われるものについて協議し、25日からの委員会にてまちづくりセンターへ掲示する回答を作成

地域井戸端会



お礼と回答

浜田市議会主催の地域井戸端会にご参加いただき、ありがとうございました。
会場を分散した結果、延べ 235 人（前回比 118%）の市民の皆さまの意見を伺うことができました。
事前にお知らせしていたとおり、ご意見に対し、議会としての対応を以下のとおりお知らせします。

【テーマ別にいただいた意見への各委員会の所感】

○地域交通について～移動の自由をどうつくるか～（総務文教委員会）

総務文教委員会にて作成

○市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について（福祉環境委員会）

福祉環境委員会にて作成

○地域産業の問題点と課題について（産業建設委員会）

産業建設委員会にて作成

※めくっていただくと自由意見などへの回答をご覧ください※

【自由意見などへの回答】

【総務文教委員会】

総務文教委員会にて作成

【福祉環境委員会】

福祉環境委員会にて作成

【産業建設委員会】

産業建設委員会にて作成

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 11 日(土) 18 時 30 分～20 時 15 分		
開催場所	大麻まちづくりセンター	参加人数	4 人
出席議員	永見利久、肥後孝俊、佐々木豊治	補助員	村武まゆみ
テーマ別に出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・コミュニティーワゴン車を市から借り上げ、買い物ツアーを毎週水曜日に実施している。センター事業にも活用している。しかし、運行者の担い手(現在 3 名いずれも高齢者)不足が課題である。 ・あいのりタクシー事業について、まちづくりセンターで検討しているが、利用者の時間調整が難しい。(病院診察時間に合わせるなど)		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・海岸清掃活動が行われており、シニアや水高生が参加している。 ・市街地の方から、仕事帰りに毎日、海岸清掃を 1 人でされている方がおられ、ボランティア清掃袋をまちセン横に置いて使ってもらっている。また、労いの声掛けをしている。		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・三桜酒造跡地活用、神楽伝承館整備、高校寄宿舍等の報道発表後の続報が住民には伝わらず困惑した。 ・移住促進に関して音楽活動などを通じた定住促進の可能性がある一方で、地元の方々(音楽家)の苦労も見受けられる。		

自由意見	【総務文教委員会】 ・まちづくり委員会であいのりタクシーの予約受付を行うことは困難である。 ・高齢者からの敬老乗車券増額の要望は、大麻地区ではあまり聞かれない。 ・まちづくりセンターがまちづくり委員会や活動の事務方を担うことで、円滑な運営ができています。
	【福祉環境委員会】
	【産業建設委員会】

令和 6 年 5 月 11 日 報告者 肥後 孝俊

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 13 日(月) 18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	浜田まちづくりセンター	参加人数	0 人
出席議員	沖田真治、柳楽真智子、小川稔宏	補助員	笹田卓
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について		
自由意見	【総務文教委員会】		
	【福祉環境委員会】		
	【産業建設委員会】		

令和 6 年 5 月 13 日 報告者 沖田 真治

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 14 日(火) 18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	木田まちづくりセンター	参加人数	13 人
出席議員	西田清久、上野茂、牛尾昭	補助員	笹田卓
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ (今後の対応) ○今、木田地区としてやりたいことは自治会輸送。三隅に勉強へ ○市営バスを廃止しては、人の少ない地域に大きい車両非効率 ○デマンドバス等利用少ない、ニーズが合っていないため ○動いていない時間帯の車シェアできないか ○公共交通計画、町民が喜ぶ要素 1 つもない ○単に高齢者の支援と考えるのではなく、自分で移動するのが大変な人を対象にどこへ行きたいのかで調査するべき。 ○利用者ニーズに合わせて便を設定した方が利用者は増える ○旭発浜田行き 1 便は高校生、一般乗客で混雑、その便だけでも大きな車両にできないか (現状) ○地域交通地域の 1 番の問題 ○丸原から木田まで片道 3000 円のタクシー代、敬老乗車券あるうちはいいが。 ○旭町の地域交通は危機的状況にある。地元住民が理解しているのか ○公共や商店が無くなるのは、住民のやったことの結果 (課題) ○移動手段で車を利用してもガソリン代が高くスタンドもない		

	【福祉環境】市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ○神楽など文化の継承は十分考える必要があるが、神楽殿など大金をかけ必要ですか ○医療センターで会社の検診も受けられない ○がん治療できないのか ○医療センターは水につからない高台に ○拠点医療優秀な医師が必要 ○産婦人科は旧市内にはないのか ○若い医師が浜田に定着しないのか ○働く所がなく若者が戻らない。市は長いスパンで考えてない ○考え方を変えないと浜田市は残れない ○ゆうひパークを高齢者の安らぎの場に ○民間で空き家をバリアフリーにしてお年寄りの集合場所に ○福祉の充実の裏では保険料負担が生じている ○赤字で廃止の話があった、訪問入浴の復活はなぜか ○なぜ今下水、浜田市の物理的環境を整える方が先では 【産業建設】地域産業の問題点と課題について ○建設業の維持、雇用の確保 ○河川環境が悪くなっている。行政の支援を ○梨生産の維持担い手確保、20年後が心配、農業跡継ぎがいらない ○旭では大規模農家は育たない、小規模農家の支援が少ない ○耕作放棄地が増え、条件不利などで活用が困難、よい対策は ○農業の大型機械は金がかかり個人ではできない、個人の農業では兼業でないと生活できない、受け入れる企業を育てないと ○旭温泉の観光振興、温泉を中心とした住民のまとまりがない ○まんてんの今後、産直への出荷がなく栽培意欲がなくなった ○地域資源の活用による地域産業の活性化、昼食する場もな
--	--

	い ○若い人より 50 代位の移住を求める
自由意見	【総務文教委員会】 ○5 月の連休高速バス満員で、家族のうち 1 人だけ乗車や、バス停で待つ間に弁当 2 回食べたなど、増便などは ○高齢者免許返納、1 人暮らしの方免許センターで返納、乗車券は市役所へ運転運転できないので移動手段がない
	【福祉環境委員会】
	【産業建設委員会】 ○農業、林業は JA など組合の活動が見えるが漁協は見えない ○八戸川漁協 400 人の組合員は魚を捕るだけでなく、川の清掃、上流には水源地もある。海の漁協の方・・・
	【その他】 ○井戸端会議、毎回同じ人でなく、若い人にも来てもらえるように

令和 6 年 5 月 14 日 報告者 上野茂

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 14 日(火曜日)18 時 30 分～20 時 40 分		
開催場所	岡見まちづくりセンター	参加人数	10 人
出席議員	村武まゆみ、布施賢司、大谷学	補助員	村木勝也
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・市道でありながら、コミュニティバスが通らない（市道の草刈の問題もある） ・地元スーパーが閉店した、ボランティアで週一開店するが、赤字である。スタッフも高齢化でこの先運営も不安。来たいけど移動手段がない人はタクシーで来店を促す（片道補助制度している）。 予算が拡充された、あいのりタクシー事業を移動手段として考えている。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について		

自由意見	【総務文教委員会】 ・ふるさと同窓会支援事業⇒なぜ若者だけなのか？シニア層にも定年を迎えてＩターンする人もいる、バランスをとってその支援も必要では ・まちづくりに対して人口規模だけで交付金を決定するのではなく、もっと現状を把握したうえで、集落が維持できない所に配分する考えや活動をしっかりやっているところにお金をだすべきだ。 ・郷土資料館を早く建設するべきだ。なぜ、建設が進まないのか？ ・発電所に社宅があるが、社宅から通学する児童は０人である。若い世代の方に家族揃って赴任していただくようお願いができないか、それには浜田の魅力をもっと発信すべきだ。（岡見小学校 40 人、不安） ・良い取組や成果が上がった施策はもっと広報をすべきだが広報が下手である。専門家に頼んではどうか？
	【福祉環境委員会】 ・高齢者のサロン事業など集落ごとに施設で活動するが、電源立地地域対策交付金で建設された集落の施設は大きいため、エアコンが５台取り付けてある。活動すると電気料金Ａプラン（年間、基本２万円）が季節によってＢプラン（年間、１０万円）になり負担が大きく活動が制限される。市に対して相談しているが、どうすべきか悩んでいる。 ・市長は「子育てしやすいまち」と言われているいろいろ子育て支援をされ助かっている方は確かにいるが、何か一つ足りないように感じる。女性の立場に立ったお金ではない助成も必要ではないか。（女性議員の活躍を期待する）
	【産業建設委員会】 ・浜田漁港の整備等はどの方面からの働きがあつてするのか、自分たちは分からない。（その必要性和経過等を広報すべきでは）

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 14 日(火)18 時 30 分～20 時 15 分		
開催場所	石見まちづくりセンター	参加人数	5 人
出席議員	芦谷英夫、串崎利行、川上幾雄	補助員	川神裕司
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ デマンドタクシーの利便性が悪い スマホを活用した予約制にしたらどうか ・ あいのりタクシーの利便性が悪い 最低 2 名という制限が困難な場合がある ・ 路線バスの利用者が少ない 予約型にすれば良いが難しい 議員⇒委員会として現在スピード感を持って地域交通の課題については取り組んでいる。上記を配慮して検討する。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・ ごみステーションの統一化を 統一はなされていないが、鳥獣による被害防止が進み環境的には良くなっている。 ・ 下水接続時の個人負担へ補助を検討されたい 高齢化等の中で接続率確保には必要な施策ではないか ・ 人口減少時における下水の必要性はどうか 現計画以上に下水を伸ばすより合併浄化を検討されたい 議員⇒人口減少、少子高齢化の現在を考慮した下水対策について今後も大きな課題として検討する。		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・ 観光案内について 観光協会での案内方法について再検討されたい 議員⇒ペーパー、SNS、対面と方法は多様だが懇切丁寧な案内が不可欠と思うので協会へ申し入れる。		

自由意見	【総務文教委員会】 ・市内バス料金について 大学線のみならず市内循環も低額な料金設定として利便性を上げる検討が欲しい。 ・旧市内のまちづくり活動について 単独町内会から広域的な活動団体へ移行し、地域交通への対応等同じ課題へ取り組む必要がある
	【福祉環境委員会】 ・医師不足への対応 産科医も中心市街地へ配置できればよかった ・高齢者対応 通院の便が不足
	【産業建設委員会】 ・駅前商店街（旧岩多屋）の活用について 地域の計画を基にした再配置をすべき
	委員会の課題 総務文教委員会 地域交通についてスピード感を持って取り組む 福祉環境委員会 下水への接続費用補助、下水未設置地域への合併浄化槽 産業建設委員会 現在駅前再開発計画策定へ向かっているので注目 その他 浜田市全体の青写真が不足している 議会として、ここからの計画を検証すべき

令和 6 年 5 月 15 日 報告者 川上幾雄

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 14 日(火) 18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	三隅まちづくりセンター	参加人数	7 人
出席議員	岡本正友、三浦大紀、田畑敬二	補助員	村木勝也
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ あいのりタクシー事業について、三隅から益田市内までの活用を求める。 ・ 同上の活用について戻り(益田→三隅)の相互利用(益田市共同歩調)に反映できないか？ ・ 三隅より浜田市内に毎日通勤するので、行きについては同上可能である。料金の代わりに商品券等のクーポン配布しては？ ・ 市内生活路線バスに買い物商品などの運搬ができるようにならないか？		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・ 風力発電や太陽光の推進もいいが、これも完全ではない。三隅には火力発電所もあるので、共存の可能性を含め先を見据えてこの土地でできることを考えるべき。		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・ 誘致企業に対する知事への意見 ・ 小規模河川の整備や土石流の浚渫など →小規模工事なので支所に報告 ・ 市道の側溝清掃及び整備 →側溝の清掃は、地域で出来ることは地域でお願いをした。工事物はまとめて支所産業建設課に報告		

自由意見	【総務文教委員会】 ・資料館の現状は？荷捌き所など中途半端な建物ばかり作られているのではないか。市民はどちらかと言えば早くやるべきという声があるので、決着をつけてほしい。進める事は進めるべきである。 →委員会では話が進んでいない。神楽伝承館の話も合間って停滞している。まだまだ時間がかかるのでは。(岡本) ・市町村単位で頑張っても難しい。石見全域で連携が必要。広域での事業取り組み推進を。 ・優先順位をつけて議論してほしい。 ・自治会を解散するのは簡単だが、活動量が低下する。コミュニティ活動費を配るといってもいらないと言われる現状。有効活用してほしいが、自治会組織単位だとやっていたが、集落単位になると大変。高齢化すると草刈りも大変。自治会単位で解散するのではなくて一緒にやるためのノウハウがあれば知恵を貸してほしい。 ・若者には都会並みに情報環境を求めている。Wifi など民間を巻き込んで整備を求める。
	【福祉環境委員会】
	【産業建設委員会】 ・キーパー（地元企業）を大事にしてほしい。 →知事に対して意見を言うのは考えてなくてはいけませんが、地元企業のおかげで雇用なども生まれありがたい。(田畑) ・水産業の振興に力を入れるべき。視野を広く持って港の振興を。 ・5万人のまちでビジネスするのはとても難しい。ITなどの活用を。その前に携帯の不感対策を。eスポーツなどは可能性ありそう。

令和6年5月30日 報告者 三浦大紀

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 15 日(水曜日)18 時 30 分～20 時 40 分		
開催場所	小国まちづくりセンター	参加人数	8 人
出席議員	村武まゆみ、布施賢司、大谷学	補助員	笹田卓
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ あいのりタクシーの事業について、個人負担金の助成を考えている（地区まちづくり推進委員会として助成する考えはあるが他はどうか） 建替え金の負担問題が出てくるのではないかな。 タクシー事業者の接遇の問題。（契約している事業所で、運転手の教育もして欲しい）		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・ エコクリーンセンターは施設の延命化のため、数年かけて大規模工事をしているが、広域行政組合での浜田の負担金はどの位か。 ゴミ処理施設を見学できるのか。 市民はゴミの減量化や分別を徹底してやるべきだし、意識付けを市が繰り返しするべきだ。（市街地域は意識付けが弱いように思われる）		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について		

自由意見	【総務文教委員会】 ・ふるさと同窓会支援事業⇒なぜ若者だけなのか？年齢で縛るのでなく団塊を超えてやる事業も必要ではないか。 ・協働推進事業で高齢者の草刈り支援など、地域全体で協力体制の構築は必要だが、推進事業の対象は浜田市在住だけだと思う。浜田市の地域外から応援する人（休みに帰ってきて草刈をする）にも支援が必要ではないか。 ・城山に浜田城を再現するか、郷土資料館を城山に建築して欲しい。 ・郷土資料館改築の必要性は、市民のどの位の人が望んでいるのか。
	【福祉環境委員会】 ・介護保険料が決まっている表があるが、第４階層で若い世代（課税対象）が同居している場合は保険料が高く、居なかったら安くなる。 在宅介護を進める立場なら、若い人が同居して見て貰うことが必要になるが、介護保険料が高いのはどうか（世帯とはなんぞや） ・家の剪定した枝は燃やしてはいけないのか、市は枝とか枯れ草は燃やしてよいと以前聞いたが、今はどうなのか？ （慣習的にやっていることはダメと言えないのではないか）
	【産業建設委員会】 ・数年ぶりに大名行列を期待した、「浜っ子春まつり」が雨で中止となった。雨でも代替え案を考えておくべきだ。 （室内の開催） ・山陰自動車道の浜田から益田、萩まで早期開通を望む。 ・萩・石見空港の機乗を増やすためには、周辺の魅力を伝えることができる観光バス（定期運行）が必要ではないか。 ・浜田の魅力発信を SNS 等で広報をするべきである。

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 16 日(木) 18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	国府まちづくりセンター	参加人数	12 人
出席議員	岡本正友、三浦大紀、田畑敬二	補助員	村木勝也
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ 公務員の方々に週の中で民間路線バスを活用するよう求めたい。 ・ あいのりタクシーは当地で積極的に取り組むことになっている。 ・ 高齢化が進み、地域には狭あい道路(路地)が多く車に乗るまでが大変である。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・ 豊ヶ浦の観光振興を。 ・ 観光客に対する観光ボランティア協会に申し込みが必要。 ・ 浜田市における観光地を結ぶルート（点と点）記載したマップが必要ではないか ・ 観光協会の存在を明確に。市民には理解しにくい。 ・ ふれあい広場・野球場をはじめとする公共施設のトイレの障害者用の利用可能、男女の様式化が必要であり大至急整備して頂きたい。		

自由意見	【総務文教委員会】 ・唐鐘高齢者クラブで活動しているが、浜田市高齢者クラブの事務局の動きが悪い。情報共有されていないことがあるので改善してほしい。 ・浜田には、若者が手に入らないものが多い。若者（20代～）が住みたい街を考えてほしい。 ・議員もペタンクやグランドゴルフをやってほしい。ふれあい広場のトイレは本当に汚い。女性用も少ない。整備を。 ・郷土資料館を見学している。新たな郷土資料館の早期建設を進めるべきである。 ・神楽は地域の財産として取り組んで欲しい。
	【福祉環境委員会】 ・身内が医療機関に勤めていて、日勤者が普通に帰れることがない。機構が改善しないので苦しい。看護師の配置はギリギリだ。人が不足している。秒単位で物事を考えなければいけない実態。
	【産業建設委員会】 ・観光拠点を線で結ぶことが大事。施設がバラバラに取り組んでいるから成果が出にくい。

令和 6 年 5 月 30 日 報告者 三浦大紀

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 16 日(木曜日)18 時 30 分～20 時 40 分		
開催場所	今市まちづくりセンター	参加人数	12 人
出席議員	村武まゆみ、布施賢司、大谷学	補助員	川神裕司
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ あいのりタクシーについて、2 人を集めるのが大変で使いづらい。1 人で利用できれば嬉しい。 ・ mobi というタクシー乗り放題のサービスがある。全国的にもいくつかの自治体が実施しているので、研究して欲しい。 ・ 生活路線バスの高速入口バス停で降者を待つ車の待機場所がなかったが、まんてんにバス停を変更してもらい助かっている。 ・ 地域交通は高齢者だけの問題ではなく、旭地域では子ども達にとっても重要な課題であるので、子どもの視点でも考えて欲しい。 ・ 免許証返納時の帰りにタクシー券が使えるようにして欲しい。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・ 産業の活性化として、定期的な市の開催（農産物だけでなく、体のケアなど）。 ・ 農地活用として、家庭菜園などとして利用できないか。 ・ まんてん（旭地域）のオリジナル商品ができないか。		

自由意見	【総務文教委員会】 *避難所にもなっている今市まちづくりセンターの出入りに、雨をしのぐ軒を設置して欲しい（駐車場から車椅子で来ると大変である） *動物の愛護センターを作って欲しい、災害時に預かってくれるところもないし、相談するところもない（避難所での動物の扱いについて） *介護保険料は郵便局など引き落としはできるが、現金での支払いは郵便局はできなかった。今の時代、郵便局やコンビニでの支払いも対応していただきたい。 *今市まちづくり推進委員会として、移動販売の希望者は民生委員が調査して情報を提供して計画的に巡回している。（助け合いが大事） ・サンビレッジを子どもの遊び場にして欲しい。モルックなどの推進。雨天時に子どもと遊びに行く所があると子どもをもっと産みたいと考えるかもしれない。 ・浜田高校の学力低下が非常に気になる。市内全体が低下しているのだと思う。旭中学はそれほどではない。 ・まちづくりのことなど頑張っている人や、アンケートに答えてもらったらポイントなどがつく仕組みがあると、町に関わっているということが可視化できて、関わる励みになる。 ・子育て祝金として、中学卒業祝金を少額でもいいから出してもらえと、進学就職の準備として使える。親も嬉しいし、子どもも制服、教科書など使えるとに市から祝ってもらっていると感じることができる。 ・空き家対策として、仏壇などの取り扱いなどが問題。
-------------	--

	【福祉環境委員会】 * 医師確保対策事業は浜田市だけでなく、広域で考えた医師対策を考えるべきだ。(旭だと邑南町、大田市にいく方もいる) * 総合診療医を育成することも大事だが、眼科や耳鼻咽喉科など専門医の育成や医師確保対策も必要ではないか。 * 旭診療所では以前 24 時間体制だったが今はしていない。(緊急性がある場合に対応して欲しい) * オストメイト・トイレを設置して欲しい。(今市まちづくりセンターは多目的トイレ、男性トイレにはサニタリーBOX は設置してある) ・ 今市まちづくりセンターの車椅子駐車場から雨にぬれないでセンターに入れるようになると嬉しい。 ・ 災害時の動物の避難可能な方法として動物愛護センターを検討して欲しい。
	【産業建設委員会】 * 今市バイパスが 10 年で、できると言われて期待していたが、最終的に完成は 26 年位かかり長期になることの説明も市と県では食い違いがある。また、地元の要望を聞かずにやろうとしている。近年はコロナで計画は進んでいないが、小学校の跡地には残土を運んできており置きっぱなしである。 * 坂本地区で圃場整備を初期でやった分が痛んできており、計画はしていると聞くが市がなかなか動かない。(公共事業が少なくなっているのも、地元業者も助かる。何十年経ったら見直すとして、三隅や弥栄はやっていると聞く) 条件(全体で 10ha 以上)があるにしても早期に取り組んでもらいたい。 ・

令和 6 年 6 月 3 日 報告者 村武まゆみ

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 6 月 16 日(木) 18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	井野まちづくりセンター	参加人数	15 人
出席議員	西田清久、上野茂、牛尾昭	補助員	笹田卓
テーマ別に 出た意見	【総務文教】地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ○バスあっても乗るところまで出られない、井野っ地号は家まで ○ひゃこるバス 1 週間の運行が決まっている、行きたい時にいけない。 ○病院受診に行く手段が難しい ○敬老乗車券も冊数が少ない。20冊6万円では浜田から井野は1万円かかる ○道路状況が悪い、草刈りが無理、イノシシが堀りガタガタになり危険 ○移動手段、ひゃこるバス、井野っ地号、家族、近隣の方の車で対応してもらっている。 ○JAの肥料などすべて市内に集中し、車のない人は農業など無理な状態 ○井野っ地号の利点、玄関から玄関へ、タクシーより安い(課題) ○井野地区のみの人材では草刈り等何もかも継続は無理 ○ドライバーが高齢者になりやめる人も多く不安 ○井野っ地号三隅地区だけ、浜田、益田方面の病院へは行けない ○バス利用者が高齢者になり認知症など付き添いがいないと心配 ○交通-高齢者に目が行きがちだが、学童(委託)の長期休暇中の移動(事業参加等)への予算は考えてもらえないか(解決策) ○運営資金の確保 ○県道、市道の整備 ○指定管理を取り公共交通の維持を図る ○敬老乗車券の拡大 ○利用受付者の確保 ○介護保険を利用して利用代金の減免 ○定年後生計が維持できる補助があれば運転に専念できる ○他の公共		

	交通との連携 ○行ける行動範囲の拡大 ○立ち寄り各所の拡大 ○井野っ地号利用促進 (その他) ○新たに避難所を新設する事はできるのか？ ○バスが立ち寄るようにしてもらった（一便だけ）ので将来利用できるの少し安心 ○駅に行っても人がいない高齢者は不安、対応を考えてほしい。 ○車がないと家に閉じ籠ってしまう。見守り体制を ○現在の避難所所は58年災害で死亡事故も起きている場所で住民に避難呼び掛けてもNo、現状では自宅避難がBEST
	【福祉環境】市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ○草刈り高齢化、人で不足、助成金で業者を雇うほどでなく困る ○山への不法投棄が多い ○温暖化による対策に援助
	【産業建設】地域産業の問題点と課題について ○河川の堆積土の撤去を ○君市踏切の改良と救急車の運行経路について ○防犯灯の整備や電気代の助成を

自由意見	【総務文教委員会】 ○石見テーブルテレビの防災、道路状況を映すカメラの映像が木の成長でわからない、管理はだれがするのか ＊持ち帰り対応する ○５８年災害も経験、避難所の集会所で危険なところがある。見直してほしい。３０年以上、逃げる所がない ○避難所どこもまちづくりセンター事務所が閉まっているとファックス、電話等が使えないセンター休みの日の対応は ＊簡単に事務所に入れるようではいけない。対応を考える ○みどりかいかん４０年を迎える、解体について１千万～２千万かかるのでは、今、流れに沿っているが ＊耐用年数を超えるものを行政財産難しい民間へ・・・地域の声と行政と、地域主体となるようでなければいけない、頭に入れておく ○携帯電話の通じない地域がある
	【福祉環境委員会】 ○近くに福祉施設がない ○近くに医療機関がない ○認知症になっても交流できる場所があれば支えあえるのでは ○介護保険等利用せず健康な方への粗品配布はないのか ○介護タクシーは利用金が高い乗車券を使う
	【産業建設委員会】 ○旭の「まんてん」の移動販売等の今後は ＊移動販売は再開している ○道路の落ち葉が積み重なり、側溝もつまり、危険木等もある ＊持ち帰り道路管理とう対応する ○近くに銭湯がない（１人暮らし風呂を沸かすのが大変）

令和６年５月１６日 報告者 上野茂

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 17 日(金) 18 時 30 分～ 20 時 30 分		
開催場所	長浜まちづくりセンター	参加人数	6 人
出席議員	沖田真治、上野茂、小川稔宏	補助員	村木勝也
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ※ 以下あいのりタクシー事業について ○あいのりタクシー事業について今日初めて知った。長浜地区の町内会、まちづくり推進委員会の役員が知らない、知らされていないのであれば問題があるのではないかと思う。 (翌日センターへチラシを持っていくことで対応。(済み)) ○地区まちづくり推進委員会単位で同額の予算だと人口規模によって利用方法や利用回数に差が出ることが課題だ。 ○良い取り組みだと思うがどれだけの利用者がいるのか？限定的な利用にとどまるように思う。長浜地区を見た場合家族や知人が通院、買い物に連れていくことで対応していることも多い。市内、駅前へ行く石見交通の路線バスの便数もある程度あり 370 円で駅前まで行くことができるので、定期運行での運営であれば利用は 9 号線から遠く離れバス停が近くにない地区の方々が利用する程度、限定的だと思う。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について		

	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ○三ツ桜酒造跡地活用について木材等を利用し酒蔵として残せる状態なのか？歴史博物館の進捗について会派が分かれているから意見がまとまらないのか。 ○ゆうひパーク浜田やお魚市場について地元利用を増やすためのクラウドファンディングの活用や市民は水産物を安価で購入できる特典を設けるなど業者とお互いメリットのある魅力ある仕組みづくりが必要。 ○美又温泉再開発では旅館等への影響が心配だ。 (日帰り温泉施設として整備計画について説明し対応済み)
自由意見	【総務文教委員会】 ○第4中学校、雲雀丘小学校の閉校後の利活用については地元の意向を尊重してほしい。 ○防災、防犯メールはこと細かく情報が入ってくるがあまりに多すぎる情報量のため次第に見なくなる。もう少し発信する情報を精査して出してほしい。 ○交通安全啓発ポスターの文字が小さすぎてよくわからない。行政の印刷物、議会だよりも同様である。文字数が多いと見る意欲がわかなくなるので配慮してほしい。 ○スマホ教室を定期的に実施してほしい。
	【福祉環境委員会】 ○可燃物処理場についての質疑に対し、長寿命化工事中との説明、運営等について意見交換をした。(対応済み)

	【産業建設委員会】 ○浜田市には造船所がなく下関まで行っている不便な状況を改善してほしい。磯焼けが進む中で陸上養殖を含めた養殖事業に向けて市として取り組むべき。 ○大田市のアナゴ活用PR等の上手さを見習うべきだ。 ○貯木場のヨットハーバー、シーカヤック等での活用について他地域からの来客が増えることは悪くないが小型船舶の不法行為や所有者不明船舶、夜中まで騒ぐなどマナーの問題が心配される。一概には歓迎できない。 ○通学路となっている法蔵寺山公園の周布方面に危険個所があるので対応してほしい。 ○3中の通学路に危険家屋があり瓦が落ちてきたこともあり危険である。何らかの対応を願う。 ○3中までの通学路は自転車通学が多い。旧道は狭くて危ないと感じることが多い、海岸線の早期整備望む。
--	---

令和6年5月17日 報告者 沖田真治

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 17 日(金)18 時 30 分～20 時 15 分		
開催場所	周布まちづくりセンター	参加人数	6 人
出席議員	芦谷英夫、串崎利行、川上幾雄	補助員	村木勝也
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ 中央の 9 号線のみであり周辺での移動手段が必要 あいのりタクシーの条件（2 名以上）を緩和したらどうか ・ あいのりタクシーの設立が困難 交付金活用の面から多様な組織での立ち上げを検討 議員⇒「その他」で総括・検討し今後検討すべき課題に含めた。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・ まちづくりセンター活動について 多様な勉強会の開催が必要 スマホ教室なども ・ 活動への参加が不足 議員⇒「その他」で総括・検討し今後検討すべき課題に含めた。		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・ 地域に小売店等が無くなった 遠方への買い物となり高齢者への移動手段が欲しい ・ 益田地域にある店の種類で浜田に無いものがある ユニクロ、ケンタッキー、ミスドなどがあれば良い 議員⇒浜田地域の閉鎖的な環境が災いしているかも。新たな方策について検討の余地あり。「その他」で総括・検討し今後検討すべき課題に含めた。		

自由意見	【総務文教委員会】 ・ 高齢者、若者の選挙参加を図るべき 機会の確保（移動の手段、借り上げタクシー等）
	【福祉環境委員会】 ・ 地域病院（眼科）の存続が望まれる バス停、量販店に近く利便性が高く高齢者に優しく
	【その他】 ・ 議会が市民に向いているか ・ 市民に対して市政運営を ・ 早い人事異動が市政運営を困難にしているのでは ・ 議会、市政の情報が市民と共有されていないのでは ・ 若者の意見を聞くため年齢制限をして井戸端会を行ったらどうか ・ 若者の地域活動への参加が大事 ・ 若者が議会へ出て変化を生み出すことが必要 ・ 大学生は浜田市へ住民票を移動させるべき 地域活動、市政、議会への興味を引き出す
	【議会として取り組むべき課題】 ・ 多様な意見を聞く場を検討すべき ・ 若者と指定して意見を聞く場を検討すべき ・ 若者の地域活動参加を促す方策を検討すべき ・ 若者の議会活動参加を促す方策を検討すべき 井戸端会においては、「少子高齢化が進む地域ではあるが、若者の議会参加で若者が求める施策や多様な意見等を引き出し生かしていくことが肝要。」が話題の中心であり、このことが議会に求められていたと受け止めた。

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 18 日(水) 10 時 00 分～12 時 00 分		
開催場所	子育て世代包括支援センター	参加人数	4 人
出席議員	村武まゆみ、布施賢司、大谷学	補助員	なし
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・ 出雲大社の大遷宮の際は東京の電車内で多くの広告を見た。美又日帰り温泉施設も県外都市部にも積極的に広報していくべきである。		

自由意見	【総務文教委員会】 ・ホームページ内ポータルサイトの情報は。縦割りで独立的で不要な情報もあるのでイベント情報や子育て支援サービスなどの求める情報が探しにくいから改善を！ ・遊具は不要で自然の中で体験を大事にしながら大人と子どもが共に遊べる場があるといい。 ・石見神楽は全国に誇れる文化であり「ガツン」と思ってもらえる PR 効果が大きい素晴らしいものと感じる。 ・人を増やすためには子育てしやすい街にすることが重要。 ・転勤族なので浜田を知るためにも資料館は早く整備した方が良い ・幼児教育は海や山での自然体験や食の生産から調理までの生活体験などを通して楽しく取り組める場であってほしい。
	【福祉環境委員会】 ・薬を使わず食事療法とか温泉療養とか自然治癒力を高める医療を施す医師も浜田にほしい。 ・環境を意識してゴミを出さないよう家具など再利用できる仕組みはないかと思う。 ・発熱等により中途での子どものお迎えについては職場に気を遣い大きな負担となる。職場と保育園と医療機関との相互の理解や連携の中で子育てしやすい環境になってほしい。
	【産業建設委員会】 ・弥栄の米の美味しさに感動し作りたいと思って I ターンをした。島根の食糧自給率は高いが農業の担い手不足で危機感を感じる。 ・農業従事者への支援政策は雇う側だけでなく雇われる側の視点にもたった仕組みにしてほしい。

令和 6 年 5 月 31 日 報告者 大谷 学

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 18 日(土) 18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	雲城まちづくりセンター	参加人数	6 人
出席議員	西田清久、上野茂、牛尾昭	補助員	村武まゆみ
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ○雲城あいのりタクシー 2 人の条件がネック、2 人以上が難しい ○浜田市内まで 5 0 0 円、使う人が限定されている 2 0 0 0 人のうち 5 0 0 人 ○JA がなくなり、合銀も ATM だけ、窓口は市内に、地域が減退 ○あいのりタクシー 1 人でも利用できる対策を考えてほしい、料金が少し高くてもよい。 ○お出かけバスはムダ、乗る人いない。変わるものを考えたら ○雲城地区内のアンバランス・・・雲城の中心への移動にもタクシー ○あいのりタクシーの利用限られた人のみ利用 ○あいのりタクシー 1 人での使用ができないので利用できない。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ○地域の再発見にもっと力を入れてほしい。たくさんある芋地蔵、・・・など ○耕作放棄地が増えている。年に 1 回でも荒起こしを、環境にも良いしダムの役目も果たし、防災にも ○移動販売車損得なく、一人暮らしの方のためにもみなし公務員でやっても良いではないか ○いろんなことが取組まれているが見直しも大切 ○県の生涯現役証、ボランティア活動している方を推薦すべき、活動をしている方をもっと地域、行政が・・・		

	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ○地域の維持・・・草刈り・共同作業担い手がない ○草刈り補助は、収入、事業規模に充てることができる程の予算を確保すべき ○米価が安い、魅力のある農業は・・・魅力づくりはだれがする ○中山間地域へこそ関心対策を ○行政支援でなく直接担う職員を ○職員が汗をかけ仕事をせよ ○米よりブドウ、イチゴ産品研究が必要 ○市役所（職員）が直接担い手になる意識が必要
自由意見	【総務文教委員会】 ○きんたの森で劇をして、繋がりができた。集まることが大切 ○選挙の立会人若い人を使うべきでは、議員になり手がないなか、3人以上交代制で ○少子化、浜田の状況はどうか
	【福祉環境委員会】
	【産業建設委員会】 ○上下水道・・・水道管が古くなり変えられない、伸長0, 2% - 山水で対応したらどうか、井野、三隅、井野は井戸で補助金

令和6年5月13日 報告者 上野 茂

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 20 日(月) 18 時 30 分～ 20 時 30 分		
開催場所	美又まちづくりセンター	参加人数	8 人
出席議員	沖田真治、柳楽真智子、小川稔宏	議長	川神裕司
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ○あいのりタクシー事業を導入する以前は生活路線バスと追原地区で運行されているスクールバスへの混合乗車で交通手段の確保をしていた。(以下あいのりタクシー事業について) ○あいのりタクシー事業について、美又地区においては定期運航で行っており、現在は浜田市内便と江津便の 2 路線を登録制にして運行している。運行当初は引率も行っていたが利用することに慣れてきたため現在は行っていない。 ○定期便を導入する際にはアンケート調査を行い月曜日が最も多い意見であった。理由は通院の予約によるもの。 ○現在の利用者状況は固定化されてきている。利用しない理由は家族が近くに住んでいること、近所の方や知人が連れて行ってくれること、現在も何とか運転できることと把握している。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ○高齢化と人口減少で、集落の草刈りや溝掃除が厳しくなってきたので、支援が必要だ。		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について		

自由意見	【総務文教委員会】 ○民具伝承館があり運営は厳しいが、地元住民で何とか頑張っている。郷土資料館の建替えや神楽伝承館の建設の話など出ているが、できるだけハコモノは少なくしてほしい。
	【福祉環境委員会】
	【産業建設委員会】 ○美又温泉に公衆トイレが必要。新たな施設ができる時には休館日でも外から利用できるトイレを整備してほしい。 ○保養センターの敷地内（桜の木側）にベンチを設置してほしい。 ○現在保養センター内に産直があるが、日帰り温泉ができたらどうなるのか。 ○美又開発が進んでいるが自治会と温泉組合との協力がなくまとまっていない。 ○食事ができる所が必要。建物から自前で作ってやれる者はいないから市が作ってもやってもらうしかない。キッチンカーなども良いかもしれないが泉質が良くてもこのような状況では客が離れていってしまう。 ○豆腐やコンニャクを作っているが赤字続き、ほとんどボランティアのような状態で運営している。地元産品は高くて売れない。地元産品を販売する場所が保養センターの外にあった頃はよく売れていた。多目的スペースになっているスペースをかつてのように販売ができるように変えてほしい。 ○販路がないので黒米焼酎も自分で買って贈り物にしている。

令和 6 年 5 月 20 日 報告者 沖田真治

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 20 日(月)18 時 30 分～20 時 15 分		
開催場所	和田まちづくりセンター	参加人数	9 人
出席議員	芦谷英夫、串崎利行、川上幾雄	補助員	村木勝也
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ 高速バス停を利用することが増えた 敬老福祉乗車券が利用できるようになったから 利用できることはベストヒットであった ・ デマンド等の利用が減った デマンドを利用することに違和感を持つ人が多い 対象者を選択した福祉バス制度を設けたらどうか ・ 特別なニーズを対象とした制度が欲しい 市外への通院等（域を超えた時の料金差）を対象に ・ スクールバスへ一般人の乗車を認めてほしい 乗車率、利便性の向上になる ・ 高速道路 4 車線化に向けて現状路線の整備が必要 工事用運搬車の通行増により民間交通へ影響を与える 高速道路通行止め時の迂回路として容量不足 議員⇒福祉バスを検討、特別なニーズ、スクールバスへの一般乗車については課題として受け止める。 現状路線の整備については執行部へ国県への要望を依頼。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・ 自治区制度は地域づくりに最適であったと思う 自治区長を廃止した協働のまちづくりの内容が不明 議会の自治区制度への理解不足が原因ではないか 議員⇒制度廃止後のまちづくりに理解を求める広報が必要		

	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・ 旭の温泉業について 地域とのかかわりが無くなり県外ニーズだけだ ・ 地域公共事業が 1／5 程度になった 実情を確認してほしい ・ 地域ニーズに沿う施策を国県へ陳情してほしい 今市地域のバイパス、県道 50 号線八戸川沿いの拡幅 議員⇒地域公共事業については委員会で取組中。 地域ニーズに見合う施策陳情を執行部へ依頼する。
自由意見	【総務文教委員会】 ・ ふるさと基金の活用方法を明確に
	【福祉環境委員会】 ・ 瑞穂市木の病院（上田）への通院時スクールバス利用を 乗車料金の格差を邑南町との地域連携で平準化へ
	【産業建設委員会】 ・ 重富の古墳を再整備してほしい ・ 戸川自治会の公園を再整備してほしい 20 戸であるが 10 人の子どもがいる トイレが廃止され利用できない 川側にフェンスが無いのでボール遊びができない
	【議会として取り組むべき課題】 ・ 3 課題については記載のとおり。 ・ 自由意見については、乗車料金の平準化は調査すべき。 ・ 公園整備については執行部と意見交換し、子育ての環境整備として実施されるよう取り組む

令和 6 年 5 月 21 日 報告者 川上幾雄

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 21 日(火) 18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	二反田団地集会所	参加人数	6 人
出席議員	牛尾昭、西田清久、上野茂	補助員	川神裕司
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について ～移動の自由をどうつくるか～ (現状) ○運転しているので今は問題ない ○ガソリン代が高く困っている ○東京から移住、4 月 1 日より長沢、瀬戸ヶ島線が土、日、祝祭日は運休、今後の生活が不安、これまでも 1 時間に 1 本あるか無いかの状態だったが今後ますます不便になる。 (課題) ○交通空白地域の高齢者や免許返納者の生活交通手段として、あいのりタクシーが運行中だが今後不採算路線の廃止は避けられない状況なので、あいのりタクシー事業の周知徹底を図るためにも目に見える広報活動に力をいれてほしい (対策) 鳥取市では 5 月 20 日から来年 3 月 31 日までの期間、A1 オンデマンド集合交通「とりモビ」の実証実験が再開された。主に鳥取駅の南側を中心にワンボックスカーを使用して運行。乗車スポットは約 160 か所～200 か所で利用にあたってはメリットがある、今後地域社会に受け入れられるかは未知数なので、浜田市も		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ○買い物代行困っている人がいるのになぜしない ○100 円タクシーなぜ利用しない。		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ○より良い浜田をつくるために、人が活躍しやすい。働きやすい環境をつくろう。 ○職員が活躍しやすい環境 ○儲かる浜田をつくる		

自由意見	【総務文教委員会】
	【福祉環境委員会】
	【産業建設委員会】

令和 6 年 5 月 2 1 日 報告者 上野 茂

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 21 日(火)18 時 30 分～21 時 00 分		
開催場所	波佐まちづくりセンター	参加人数	7 人
出席議員	永見利久、肥後孝俊、佐々木豊治	補助員	村木勝也
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ 石見交通バスが 2 便から 1 便に減便。介護タクシーが月水金に来る。まちづくり委員会で運営するボランティアタクシーをそれ以外で活用。タクシーの予約が 7～10 日前までなのだが、使いにくい。 不登校児童生徒の受け入れ先として、自然豊かな環境で波佐小学校を活用してほしい。集いの場にしていただきたい。児童数が少ない中で、地域にとって学校施設と子どもたちは、未来への希望だ。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ガソリンスタンドの存続を地域のインフラとして考えてほしい。		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について 新しく建設する美又温泉で食事が館内でできるようにしてほしい。日帰り客は入浴と温泉がセットで考える。故に館内で寛ぎたい。		

自由意見	【総務文教委員会】 不登校児童生徒の受け入れ先として、自然豊かな環境で波佐小学校を活用してほしい。児童数が少ない中で、地域にとって学校施設と子どもたちは、未来への希望だ。 少子高齢化で、集落維持や町内会の維持が難しくなってきた。集落維持をどのようにするのか議会で考えてほしい。
	【福祉環境委員会】 地域に診療所があることで住みよいが、なくなれば住みにくい場所となる。
	【産業建設委員会】 農業 農家の高齢化 機械の導入でなんとか作業ができてはいるが...新規就農者や認定農業者ばかり補助制度があるが、条件不利地を維持管理している方へ補助事業を行なってほしい。合併してから補助制度がなくなった。農地の 10 年後の計画策定を求められるが、先の話は無理。

令和 6 年 5 月 22 日 報告者 肥後 孝俊

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 21 日(火) 18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	市木まちづくりセンター	参加人数	10 人
出席議員	岡本正友、三浦大紀、田畑敬二	補助員	村木勝也
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ 民間路線バスが運行しているが枝線の運行ができないか。 ・ 隣り町邑南町市木へ行く場合、あいのりタクシー事業の往復活用を求める。 ・ 地域ボランティアのあいのりについては、万が一の事故補償が重荷で進められていない。 ・ 何とか不便を感じながら対応してきたが今後はコミュニティワゴン輸送を検討したい。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・ 浜田八重可部線工事が止まっている（支所付近）。 ・ 令和 7 年度から瑞穂 I C～旭 I C 間 4 車線化工事が開始されるに伴い、田所国分線の通行量が大幅に増え、突角工事の必要性あり。要望書提出済みであるので応援をお願いしたい（通行制限をかけてほしい。例 4t 以上は通れません）。		

自由意見	【総務文教委員会】 ・ 50 代などを支援する政策があっても良いのではないか。 ・ 事務の簡略化を工夫してほしい。でないと誰もまちづくりの活動をやらない。 ・ 邑南町が生活圏にある。交通の問題や医療の問題に関して、邑南町とも協議をしてほしい。 ・ あいのりタクシーが川本は隣接していないので NG と言われた。生活圏を考慮した制度にしてほしい。 ・ 運動公園のトイレが汚い。県外からも多くの人が利用もするので配慮を。 ・ 郷土資料館は早期に建て替えをすべき。 ・ まちづくり委員会事業として、あいのりタクシーを利用して地区住民の健康診断を実施した。
	【福祉環境委員会】 ・ 邑南町が生活圏にある。交通の問題や医療の問題に関して、邑南町とも協議をしてほしい。 ・ 診療所の先生がよく変わるので、安心して相談できない。 ・ 隣り町邑南町市木の医院の閉鎖が示されたが、浜田市も一緒になって対応してほしい。
	【産業建設委員会】 ・ 邑南町が生活圏にある。交通の問題や医療の問題に関して、邑南町とも協議をしてほしい。 ・ 浜田道の事故により迂回した道路が狭く離合に問題が出た。改善策を求める。 ・ 旭地区の公共工事の減少から、今後の建設業の経営が困難。新たなインフラ整備計画を求めたい。

令和 6 年 5 月 30 日 報告者 三浦大紀

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 23 日(木)10 時 00 分～11 時 50 分		
開催場所	今福まちづくりセンター	参加人数	9 人
出席議員	永見利久、串崎利行、川上幾雄	補助員	村木勝也
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ライドシェアについて 特区性を活用してできないか？ ・あいのりタクシーについて 予算が増額となり運営しやすくなった。 利用価値が高いので事業廃止をされないよう要望する。 議員⇒あいのりタクシー事業が廃止とならないよう依頼する。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・協働推進事業（地域支え合い）について 現在申請中で許可を待っている 現予算金額で現時点では十分と思う ・コンパクトシティについて 主要な要素が廃止されており地域では困難 ・地域お助けブック（健康医療対策課作成）について 中身も充実しており活用しやすい 製本化とは言わないが増刷され配布を望む 議員⇒地域お助けブックについては増刷を依頼する。 健康医療対策課長へ連絡を取り考慮を要請した。		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・10 年後の農地活用について 地域計画を現在作成しているが後継者不足で不安 法人化も策だが高齢化で困難、合併による大規模化も ・鳥獣害（熊）について 処置方法も変わり排除しやすくなっている 新たな猟友会要員の育成が必要 議員⇒猟友会員の増加に向け取組む。		

自由意見	【総務文教委員会】 ・地域サポーターの活用について 地区の現状等の理解がなされていないため非効率 教育等されてから地域へ配置
	【議会として取り組むべき課題】 ・地区サポーター制度については、地区に見合った要員と 初期教育が必要と判断しこのことを要望していく。

令和 6 年 5 月 23 日 報告者 川上幾雄

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 23 日(木) 18 時 00 分～ 20 時 00 分		
開催場所	美川まちづくりセンター	参加人数	6 人
出席議員	西田清久、柳楽真智子、牛尾昭	補助員	笹田卓
テーマ別 に出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ○通勤、通学、買い物を兼ねたバスの浜田西巡回コース（内回り・外回り）が出来ないか。朝、夕八の字イメージで。 ○浜田駅から安来（弥栄）までの回送バスがもったいない。 ○要介護、要支援、障がい者で避難指示が出た時の移動手段がない人の対応策が不十分。（自主防災会の立ち上げが近道） ○バスに要支援の方の手助けに福祉委員を一人乗ってもらうことが出来ないか。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ○資源ごみ処理施設に勤務しているので、浜田のごみ処理を含む環境問題について他の人の意見を聴きたいと思って参加したが、人数が少なく残念。 ○プラゴミの混焼が始まってから、ゴミの分別意識が薄くなっているように感じる。大学生や単身赴任者などのごみの分別ができていない。 ○市民の環境意識が高まるような取組みをしてほしい。 ○美川小学校の総会の際に地元産の木材を使用した、弥栄小学校のような建物になるかと思っていたが、違うようなので残念。 ○カーボンニュートラル推進室も設置されているが、施策が単発になっていて浜田市全体の環境デザインが見えない。 ○蓄電池に対する補助を拡充してほしい。		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ○石見神楽の伝承を忠実に守ってほしい。 ○周布川漁協の復活・発足を願います。 （近年、鮎の遡上が豊か。江の川漁協との連携。サケの稚魚の放流、遡上。子どもたちの放流体験） ○米代金の入金前に天引きがあり、やっていけない。 ○補助整備の畦畔の草刈りが難しい。		

自由意見	【総務文教委員会】 ○美川小を避難場所にするなら、飲料水兼用防火水槽・バルク式ガス発電・ヘリポートなど充実したものにしてほしい。 ○四中のところを1.5mかさ上げするが、そこへ行くまでの周辺が冠水するので考えてほしい。 ○下内田へ集まる水を他に放水路で抜くことが出来ないか。 ○提案だが、地域防災基地を内田トンネル入り口上の山に整備してはどうか。
	【福祉環境委員会】 ○職員の退職が増えている。議員も職員をほめてほしい。 ○地域愛を育み、若者の元気を受け止められるまちにしてほしい。 ○せっかく市民歌があるので、みんなが歌う機会を増やしてほしい。 ○浜田は元気がない。もっと子供のことも報道で取り上げてほしい。
	【産業建設委員会】 ○牛谷の道が狭くて危ない。 (四中の統合に絡んで) ○草刈りの報奨金を町内に入れてほしい。

令和6年6月2日 報告者 西田清久

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 23 日(木) 18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	杵束まちづくりセンター	参加人数	13 人
出席議員	岡本正友、三浦大紀、田畑敬二	補助員	村木勝也
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ 弥栄町内にはガソリンスタンドや JA コープなどがあり買い物は維持できている。 ・ 医療センターなどに行く場合は、市の生活バスを活用しているが高校の登校について不便。 ・ 免許返納が進むことによってコミュニティワゴン輸送を検討する。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・ リユース食器の活用推進がエコライフ推進隊の勉強会でも説明された（上限 5 万円補助）。 使用後は洗う。そこにも資源が使われているが、どちらが環境的に良いのか。下水道も整備されていないので、川へ洗った水の多くも流れているのではないか。 ・ 分別はめんどろ。 ・ 風力発電事業があるが、生活的なメリットがないと興味湧かない。負担だけが大きくなる印象。 ・ ゴミステーションが町内ごとにない。高齢になってくると冬場にゴミ出しができなくなる。独居の人たちは個別収集始めているが旧市内でもあるのか？ コミュニティがあるから助け合いでできていることが多い。 ・ 大型ゴミ収集も限られている。実態はどうか？ ・ 環境へ配慮した活動として、笹ゆりを残す会、弥栄の自然を守る会（野鳥見学など）など市民の取り組みがある。周布川を見ても鳥がいない、魚がいない、虫がいない。環境が悪くなっている証拠。 ・ 風力発電、洋上風力は良いと思っていたけど、環境破壊の側面が大きい。風車による健康被害も出ている（低周波）。		

	体験村でも音が聞こえる。弥栄断層は考えているのか。能登半島の風力発電、かなり壊れたと聞いている。不安。
	【産業建設】地域産業の問題点と課題について ・大坪トンネル、十国トンネル内の照明が暗い。自転車等で移動する住民がおり、事故の起こる可能性が高いので県に改善の要望をお願いしたい。 ・市道・農道のセンターライン・サイドラインが消えている。夜間は特に見えにくいので、早急にラインを引いてほしい。
自由意見	【総務文教委員会】 ・寮を新設したが、満室でないのに作る必要があったのか。 →満室ではないが今後の生徒獲得を考えると必要と判断（岡本） ・神楽伝承館の必要性についてコンサルへの委託費が採択されたとのことだが、サンビレッジの件もコンサルに委託していた。この 652 万円も同じような内容か。コンサルへ丸投げではダメだ。 →そのような内容（岡本） ・今後、郵便局とコンビニをマッチングした店舗を求める。 ・市長と市議会がギクシャクしているように感じる。調和を求める。

	【福祉環境委員会】
	【産業建設委員会】 ・体験村が稼働したが運営の仕方が変わっていないのでは。地域の人たちをお願いしながら、株主運営しても良いのでは。主体性がはっきりする。風力発電エリア（田ノ原から体験村）にオフロード、馬などの体験メニューを作ったりあるものの活用も。

令和 6 年 5 月 30 日 報告者 三浦大紀

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 24 日(金) 18 時 30 分～ 20 時 30 分		
開催場所	白砂まちづくりセンター	参加人数	6 人
出席議員	沖田真治、柳楽真智子、小川稔宏	補助員	川神裕司
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ○白砂地区には 4 集落あり生活路線バスが通っていない集落の方々が主に利用している。集落の住民同士で連絡を取り合いながら通院や買い物に行く日程を合わせての利用や夫婦で通院するなどの利用が多い。良い制度だと思うが利用目的が違うケースも多々あるので制度については検討するべきだ。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ○環境教育を市民に積極的に行ってほしい。 ○環境住宅に対する国の補助もあるが、予算が無くなり次第打ち切られるようだ。市としても年齢に関係なく補助してほしい。		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について		

自由意見	【総務文教委員会】 ○若者ファンドの年齢制限を、もう少し上げてほしい。 ○若者ファンドなどの支援については年齢制限を39歳以下と線引きせずに支給額を下げてでも少し幅を持たすべき。 ○人口減少が進んでいる。若い人の働き先も必要。県大生を残すには人とのつながりも大事だと感じる。 ○今年になって新聞報道を見る限りにおいて明るい話題がなく市政の混乱ばかりを取り上げる内容が目につく。県内の方々から誤解を受けるとも思う、浜田市の印象が悪くなる。 ○あいのりタクシーを利用する際に2人以上の利用が条件となっており、一人暮らしの方だと利用しにくいことが課題。 ○あいのりタクシー事業の拡充の検討のためタクシー業者へ相談したところ運転手不足を理由に断られた事例があるような厳しい状況にある。
	【福祉環境委員会】 ○医療体制に不安を感じる。医師確保のためにはインセンティブを持たせる必要があるのでは。 ○介護人材も不足している。人材確保に力を入れてほしい。 ○電気代が今後上がるが、今年も暑い夏になりそうだ。低所得者や高齢者への支援を考えてほしい。

【産業建設委員会】

○支障木伐採事業は1度使うと使えなくなる。雑木は枝を切ってもすぐ伸びるので数回でも使えるようにしてほしい。

○今年度予算で神楽伝承館の話が急に出てきたように思える以前からこのような検討がされていたように思えず唐突な印象を受けている。仮に今後、施設が整備されて常設で神楽上演できるようになって定期公演をすることになってても団員の高齢化となり手不足であることからそのような構想があっても実現することは難しいと思う。

○ゆうひパーク三隅付近の海岸へ県外からの釣り客が多く訪れる。小型ボートの操縦マナー、運転マナーが悪く特に車の運転は狭い道路にも関わらずスピードを落とさない道を譲らない。加えて最も困っているのがゴミの不法投棄であり地元住民は困っている。

○三ツ桜跡地利用検討委員会の意見を尊重するのであれば商業施設誘致が望ましいと言う意見であったにもかかわらず郷土資料館と伝承館併設の候補地として上がることに疑問。

○今年はカメムシが大量発生している。鳥取県はカメムシによる農作物被害の対策予算を付けた。島根県も同様に対策を行ってほしい。

○益田市と浜田市を比べた時に益田市は商業施設や店舗が揃っているし駅前も整っている。今の浜田市は場当たりの開発を行っている印象を受ける。しっかりとした都市計画を立て再開発を行ってほしい。

○指定管理に関連した関連施設支援室をなぜ廃止にしたのか理由がわからない。

○三ツ桜酒造跡地等の取得に関しては活用の目的が先に来るべきではないか。

○熊スプレー購入に対する助成について検討してほしい。

○西条柿生産者の後継者不足、人手不足は深刻な問題で苦慮している。合わせて有害鳥獣の被害も同様に苦慮している。

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 25 日(土)18 時 30 分～20 時 15 分		
開催場所	三保まちづくりセンター	参加人数	8 人
出席議員	永見利久、肥後孝俊、佐々木豊治	補助員	笹田卓
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ 1. 移動販売の現状と課題 現状 ・まちづくりセンターに移動販売が来ているが、利益が十分でないため持続が困難。 ・毎週水曜日に岡見まちづくりセンターで移動販売を行っているが、赤字経営が続いている。 ・三保にも移動販売を導入したいが、現状では難しい。 課題 ・農協跡地に新たな出店を呼びかけているが、橋本商店やキヌヤの出店は難しい現状がある。 ・人口減少に伴い、新規出店を希望する事業者が少ない。 2. 買い物タクシーの導入 導入内容 ・ジャンボタクシーを利用し、予約制で買い物タクシーを開始。 ・乗員は 8 人で、添乗員が同行する。 利用状況 ・日用品は近くのキヌヤで購入できるが、化粧品など特定の品物は遠方のトライアルまで行く必要がある。 ・毎月 2 回、6～7 人の買い物ツアーが好評。 費用 ・片道 500 円の費用はまちづくりセンターが負担している。 3. 高齢者の移動問題 バス利用の課題 ・ひゃっこるバスは家の前まで来ないため、停留所までの移動が高齢者にとって大変。		

	・多くの高齢者がタクシーを利用してサンプラムへ買い物に行く。 4. 地域の取り組み ・井野や和田まちセンで食品販売を実施している。 ・毎月 1 回、三保マーケットを開催し、買い物中に交流の場を提供。健康チェックの機会も設けている。 5. 医療センター受診と買い物支援 受診支援 ・医療センター受診者は延べ 34 人。 ・受診時の片道料金は 700 円。 6. 買い物支援 ・買い物支援利用者は延べ 39 人。 7. 地域交通の自由 ・買い物と通院の自由を確保することが重要課題である。
	【福祉環境】市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について 1. 道路の維持管理と高齢化 草刈の実施 ・近々、草刈を実施する予定。特に高齢者が増えている地域での活動が必要。 ・高齢化が進む中で、草刈や道路維持管理を行うボランティアや支援が必要である。 2. ボランティアによる海岸清掃 実施内容 ・三保地区から古湊までの地域で、各種団体が協力してボランティアによる海岸清掃を実施している。 ・昨年は 400 人が参加し、漂着物の回収を行った。 環境問題への意識向上 ・海岸清掃活動を通じて、地域住民が環境問題に関心を持つ

	ようになっている。この活動は何十年も続いており、地域の環境保全意識を高める重要な役割を果たしている。 3. まとめ 市民生活の質向上 ・特に高齢化が進む地域では、交通の便の確保や環境維持管理が重要である。
	【産業建設】地域産業の問題点と課題について 1. 地域産業の現状と課題 公共事業の重要性 ・地域にとって公共事業が基盤となっており、土建業の持続が不可欠である。 ・土建業が衰退すると、災害復旧などの重要な公共サービスが滞る恐れがある。 人口減少と新規出店の課題 ・人口減少に伴い、地域内での新たな事業者の出店が難しくなっている。 ・既存の商店を維持するための支援策が必要。 まとめ 地域産業の持続可能性 ・公共事業を支える土建業の持続が地域産業の基盤であり、そのための支援策が重要である。

自由意見	【総務文教委員会】 議会と執行部の協議体制 事前協議の重要性 ・執行部と議会が事前に協議して、議題について詰めていくことが重要である。 ・全員協議会でしっかり議論した上で、本会議に進むべきとの意見がある。 議会改革の必要性 ・資料館の件を例に、議会改革が必要であるとの意見が出された。 ・執行部と議会の連携を強化し、効果的な政策決定を行うことが求められている。
	【福祉環境委員会】
	【産業建設委員会】

令和 6 年 5 月 29 日 報告者 肥後 孝俊

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 26 日(日)10 時 00 分～ 12 時 15 分		
開催場所	都川まちづくりセンター	参加人数	12 人
出席議員	永見利久、肥後孝俊、佐々木豊治	補助員	笹田卓
テーマ別に出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ 広浜バスの運行停止による交通アクセスの問題。 ・ 市のバスの運行スケジュールが午前中のみで、午後の診療がある場合に不便。 ・ のりあいタクシーの利用増加。 ・ デマンドタクシー335 が医療アクセス手段として使用されているが、利用が月 1 回と限られており不便。 ・ 病院へのアクセスや買い物の際に公共交通が不便であることから、あいのりタクシーの活用を検討。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・ 地域の河川清掃活動や環境問題意識の向上に関する活動。 ・ 高齢化率の上昇と人口減少による環境保全活動の持続可能性への危惧。 ・ 環境保全・美化活動への補助制度財源としてのふるさと寄附金の活用。 ・ 地域の景観保持を目的とした草刈り作業の業者への業務委託に関する提案。		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・ 地域産業の課題、特に交通インフラに関連した問題。 ・ 地元産業の振興や地域の活用計画に関する議論。 ・ 公共交通や医療アクセスの改善に向けた取り組みの必要性。 ・ 市内中心部への公共投資が偏っているように見受けられるが、周辺部にも目を向けて必要な改善を実施していただきたい。		

自由意見	【総務文教委員会】 ・公共交通アクセスの改善 地域の公共交通の利便性を高めるために、バスやタクシーの運行時間と頻度の見直し。 ・バススケジュールの改善要求 診療所の診療時間と市バスのスケジュールが合わず、午後の医療アクセスが困難です。 ・のりあいタクシーの利用 一部の住民は乗り合いタクシーを利用して医療センターや買い物に行っており、このサービスの拡充を望んでいます。 ・デマンドタクシーの利用制限改善 デマンドタクシー335は存在しますが、利用が月に1回と制限されており、また時間帯が限られているため不便を感じています。 ・携帯電話用の電波不感地域の改善について 携帯会社へアンテナを建設の要望を出しているが、未だ建設に至らず。家庭用アンテナを借りて設置するが、電波を拾えない。市内全域で光ケーブル(CATV)を敷設する計画だが、携帯電波の不感地域解消も併せて考慮していただきたい。事故、急病の際に、迅速に関係機関へ連絡できる地域であることも住みやすい地域へつながると考える。 ・旭社会復帰促進センターの契約期間満了後の情報について PFI方式での契約が満了となる時期が近づいているが、今後どのようなになるのか情報が、同じ旭町内であるにもかかわらず都川地区には何も伝わってこない。 【福祉環境委員会】 ・環境保全活動 毎年6月に河川清掃を実施しており、今後も継続を希望。ただし、参加者が減少しているため、より多くの参加を促す措置が必要だが、高齢化と人口減少により大変難しい ・草刈りの助成 草刈り活動のための助成を6月からでなく5月から開始して
------	---

	欲しいとの要望がある。 ・ 高齢化対策 地域の高齢化率が 70%に達しているため、高齢者向けの支援策を強化する必要がある。また子どもがいる家庭があることで、地区によっては高齢化率が 70%を切ることで助成額が減少するといった問題があり、高齢化率割合算定基準について地域の実情を反映したものでないことに不満がある。 ・ ふるさと納税の活用 地域を守る景観保全財源としてふるさと納税を活用し、地域の景観保持や活動資金に充てる提案。具体的には、草刈り等を外部委託し費用をまちづくり委員会へ充当といった手法を取れないものか。
	【産業建設委員会】 ・ 交通インフラの改善 地域の主要な道路（県道・市道・林道）の幅が狭く、車の通行や離合が困難な場所があるため、道路の拡幅や改修を要望。 ・ 地域産業の振興 地元の特産品を活かした産業振興策や、新たなビジネスの誘致を求める声があります。働く場所の確保で若者が住める地域に。 ・ 公共交通の利便性向上 地域内の公共交通が辛いところに手が届いていない、不十分であるため、多様な交通手段確保や運行時間の延長を要望しています。例えばバス路線の場合に、停留所から自宅までの区間をどのように移動するのか、移動手段の新たな仕組みができるのかが、重要。

令和 6 年 5 月 28 日 報告者 肥後 孝俊

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 28 日(火) 18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	久佐まちづくりセンター	参加人数	10 人
出席議員	岡本正友、三浦大紀、田畑敬二	補助員	笹田卓
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ 当地は公共交通と市生活路線バス、市のりあいタクシーの 3 路線が運行している。 ・ 公共交通にしる、市生活路線バスでも待ち時間が永くて大変である。 ・ 免許返納が進むことによって新たな課題がふえるが新たなあいのりタクシーに期待をする。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・ 市の方で政策掲げて、事業者従う感じになっているが、環境はそれだけではないのでは。例えば、食べ物を輸入しているが莫大なコストがかかっている。意識改革が必要。 ・ 食品ロスは大問題。ゴミの減量に心がけているが、捨てないことを徹底するのができること。 ・ 断熱住宅、太陽光パネルの設置はお金がかかるので、できることから。それが食を通じた取り組み。分別の意識をしっかりすることが大事。 ・ JA で回収をやっていたが、9 月でもうやめる。回収する仕組みを市で作ってほしい。 ・ 地球に優しい、体に優しい。それが環境づくりだ。スーパーでもロス削減啓発をやるなどしてはどうか。 ・ 不法投棄がどれくらいあるか？		

	【産業建設】地域産業の問題点と課題について ・耕作放棄地が大変に多い。 ・防護柵緊急対策事業で地域別の箇所数及び優先順位を示してほしい。 →以下、回答 浜田 34 箇所 緊急性高 14 箇所 中 19 箇所 低 1 箇所 金城 39 箇所 緊急性高 4 箇所 中 35 箇所 低 0 箇所 旭 49 箇所 緊急性高 11 箇所 中 33 箇所 低 5 箇所 弥栄 26 箇所 緊急性高 6 箇所 中 20 箇所 低 0 箇所 三隅 16 箇所 緊急性高 1 箇所 中 6 箇所 低 9 箇所 整備スケジュール 令和 6 年度 36 箇所 5,200 万円 令和 7 年度 63 箇所 4,000 万円 令和 8 年度 65 箇所 3,800 万円 計 1 億 3,000 万円は、ふるさと基金で対応する
自由意見	【総務文教委員会】 ・市からの高齢者へ対する補助金が減っている。社会参画に対して医療費の削減がつながる。 →高齢者クラブの助成金は守らなければいけない。委員会は違うが、しっかり訴えていきたい。(田畑) ・久佐まちづくりセンターの空調が整備されていないので活動しにくい。 ・久佐には、伝統芸能として、山陰松竹座がある。皆さんに周知するにあたって支援をお願いしたい(大正時代から続く)。 ・多くの市職員が辞めているが理由は？ ・市長の出張が多すぎる。何でもかんでも行くべきなのか？ ・郷土資料館の建設はどうなったのか？

	【福祉環境委員会】 ・訪問入浴の予算が小さい。当面でなく、継続できるようにお願いしたい。 →確かに綱渡りのような状況。事業者のサービスではあるが、利用者の方々が安心して暮らせるようなサービス提供環境を考えていく必要がある。(三浦) ・医師確保対策事業の予算額が少ないのではないかと。最近でも病理学の先生がいなくなった。 →他事業において取り組んでいることもある。医師の獲得、医師の育成について意見交換をしながら委員会で調査研究している。引き続き取り組む。(三浦) ・高齢者クラブの助成金 400 万円から 350 万円に減額されている。高齢化率が今後も高くなる中、より増額して活性化を。
	【産業建設委員会】 ・道の駅へ視察へ行かれているが、どういうことを考えられたか。ゆうひパーク、三隅ゆうひパークの経営状況はどうか？ミツザクラにそんなに資金投入するべきではないのでは。 →三隅は一時期閉鎖したが現在の指定管理者になって利益出ている。浜田の方は、今後検討していくことになっている。酒蔵も視察した。視察先は状態が良かったので使うことができていた。三桜の状態は良くない。(田畑) ・まんてんが閉店するというメッセージは口頭だった。経緯など説明があっても良いのでは。

令和 6 年 5 月 30 日 報告者 三浦大紀

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 28 日(火)18 時 30 分～20 時 50 分		
開催場所	黒沢まちづくりセンター	参加人数	13 人
出席議員	芦谷英夫、串崎利行、川上幾雄	補助員	川神裕司
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ あいのりタクシーについて 使い方が不便⇒早く検討すべき課題 調査して良い方法を検討してほしい ・ J R、交通、ひゃこるの連絡について 各交通機関の連絡が悪い ・ 高齢者福祉乗車券について 地域条件に合わせメリハリを付けたらどうか 議員⇒何れも調査検討すべき課題		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・ 生活排水について 処理せず河川等への直接排水が見受けられる 住民の環境への無関心が問題か？ ・ 買い物難民について 移動販売が肝心と思う 複合型サロンを立ち上げ販売事業者を招くことも ・ 地域活動（弁当販売）について 法人化による出費（法人税）は運営を阻害する 議員⇒移動販売に必要な施設（車両）について検討課題 地域活動における法人化へ何らかの方策が必要		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・ 三隅川の草刈について 高齢化が進み困難になるから事業者委託を検討する 草刈後の焼却が可能になれば害虫対策となる ・ 山林の荒廃について 間伐不足が原因 間伐は洪水対策にもなる 議員⇒草刈、間伐共に今後の課題		

自由意見	【総務文教委員会】 ・ 地域医療について 看護学生に対する民宿対応は良策 医療に対する方策が遅れている (人工授精の補助回数を増やせ 10 回以上へ) 【産業建設委員会】 ・ 防災対策について 崩落可能性（落石有）箇所の早期解消を
	【議会として取り組むべき課題】 ・ 事業が P D C A 化されているかの確認 地域交通（あいのりタクシーなど）、福祉乗車券 ・ 地域活動（買い物難民対策）に問題点確認 移動販売への補助、販売事業法人税 ・ 少子高齢化対策としての人工授精について調査確認 ・ 防災について早急対応必要な個所の調査

令和 6 年 5 月 29 日 報告者 川上幾雄

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 29 日(水) 18 時 30 分～20 時 35 分		
開催場所	安城まちづくりセンター	参加人数	10 人
出席議員	村武まゆみ、布施賢司、大谷学	補助員	笹田卓
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・サポーター制度は有難いが、担当者に任せっきりにならないように留意する必要がある。 ・地域交通については、お金の取り扱いなど経理の仕方が煩雑である、前渡し金として預かって処理するなど簡便な方法に改善して利用しやすいしくみにしてほしい		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・長期となる定住につなげるためには、来住者が地域の人や土地に馴染んでいただくことが大事。 ・弥栄内の各所で見受けるモリアオガエルの卵やギフチョウなどの自然の素晴らしさに気付いていないと思うので、この素晴らしさを PR 発信する人の育成が大事である。		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・有機野菜の出荷を生産者で行っているのですが、その時間と経費の短縮や圧縮ができないか。道の駅での販売など販路の安定化ができないか。 ・漁場の豊かさが損なわれていると聞く、農薬不使用の自然的な農法により川や海の豊かさを取り戻していく必要があるのではないか。 ・熊による人的被害が出ないように駆除など早急な対策が必要である。 ・農業体験希望のニーズはあるが宿泊施設がない。教員住宅などの公的住宅を活用して確保してほしい。 ・法律改正により手作りの漬け物等の製造販売が厳しくなった。保健所の認可を得られるような施設改修には多額の経費が必要となるので意欲を継続させるためにも補助の検討を！		

自由意見	【総務文教委員会】 ・ 弥栄では小中学校生の減少が大きな問題である。短期でもいいが山村留学生のような市外から子どもを受け入れる制度を市でも検討してほしい。
	【福祉環境委員会】 ・ 地域の魅力発信が重要である。角寿司など地元の名物やモリアオガエルやギフチョウなどの弥栄ならではの自然の豊かさを積極的に PR 発信していく必要がある。 ・ 医療 MaaS の導入に期待をする。
	【産業建設委員会】 ・ ふるさと体験村の利用促進に向けて産業建設委員会での意見も参考に体験イベント等の充実に向け努力したい。 ・ 弥栄の資源である文化・歴史・自然の豊かさを発信が大事で、それらの案内表示もして周知に取り組む必要がある。 ・ 道路上の危険箇所や修繕箇所など状況をスマホの位置情報や写真機能を活用して迅速に報告ができて、その情報を集約管理する中で改善につなげるような仕組みをつくり安心安全につなげてほしい。

令和 6 年 5 月 31 日 報告者 大谷 学

第 4 回はまだ市民一日議会に向けたスケジュールイメージ

	令和 5 年度	今年度(案)
チラシ確定	6 月 29 日(木)	6 月 10 日(月)
募集開始	7 月 14 日(金)	7 月 12 日(金)
申込締切	9 月 11 日(月)	9 月 9 日(月)
開催日	10 月 22 日(日)	10 月 20 日(日) 14:00~16:00

【第 3 回 周知方法】

- ・チラシ、ポスターの配置
- ・はまだ議会だより(チラシ折込)
- ・市議会 HP 掲載
- ・石見 CATV 告知
- ・市公用車ステッカー貼り付け
- ・総合窓口課モニター掲示
- ・広報はまだ掲載(9 月号)

あなたの考えを議会に直接伝えることができる一日です。

第4回はまだ市民一日議会

浜田市在住・
在学・
在勤の方
年齢制限なし

テーマは
浜田に
関すること
生活の中で思うこと、
困りごと、市政へ
届けたい思いなど

発言時間
5分
質疑応答を
含んで10分間

10 / 20 (日) 14:00 - 16:00

浜田市議会 本会議場(浜田市役所 5階)

昨年に引き続き、第4回を開催することとなりました。第3回目は9組の方に参加いただき、ご意見を伺いました。市民の皆さんと向き合う場として大きな成果がありました。

いただいたご意見は、政策提言などをはじめとする議会活動の充実につなげていきたいと考えています。

ご自身の暮らしを通じた視点や改善策をぜひお聴かせください。

ご応募お待ちしております。

定 員 10人

申込締切日 令和6年9月9日(月) 17:00 必着

お問合せ先 浜田市議会 議会事務局(担当:村山)

申込方法

裏面の申込み用紙に必要事項を明記の上、議会事務局に持参、メール、ファクス、郵送のいずれかでお申し込みください。

詳細はこちら▼



〒697-8501 浜田市殿町1番地

浜田市議会 議会事務局 「はまだ市民一日議会」係

E-mail gikai@city.hamada.lg.jp Tel 0855-25-9800 Fax 0855-22-6765

- 初めての方を優先します
- 応募者多数の場合は抽選により発言者を決定します
- 発言者決定は郵送にてお知らせします
- 応募は1人1件、1つの発言テーマに限ります
- 複数の応募があった場合は原則1件目に受理したものを採用します
- 申込みは発言者が行ってください
- 詳細な注意事項は市議会ホームページをご確認ください

主催 浜田市議会

申込み用紙

発言者氏名(ふりがな)：

年齢：

住所：

職業：

電話：

メール：

発言テーマ：

発言内容：

■ お申込みに関する注意事項

- ・未成年の方が発言される場合、保護者の方なども一緒に登壇していただけます。
- ・発言に際し、パソコン、スマートフォンなどの機器の使用はできません。
- ・応募の際にいただく個人情報は、実施に関する連絡などに使用します。
- ・報道機関に対して、事前に発言テーマなどの情報提供をする場合があります。
また、当日の発言の撮影を許可するため、ご了承の上、ご応募願います。
- ・当日の様子をYouTubeで公開し、市議会だよりへ写真掲載することなどにご了承願います。
- ・当日は議員、発言者、傍聴者、報道機関などに対し、発言者の氏名及び発言テーマを記載した資料を配布します。
- ・手話通訳などの配慮の必要がある場合は、10月4日までにご連絡ください。
- ・発言者以外の方（ご家族、ご友人など）で同行者がいる場合は、傍聴席でご覧いただけます。
- ・記入に不備がある場合は、内容確認のため、ご連絡させていただきます。

浜田市議会

[ホーム](#) [市議会カレンダー](#) はまだ市民一日議会とは

はまだ市民一日議会とは

2023年 9月 11日

より開かれた議会を実現するため、市民の皆さまから市政や議会へのご意見をお聴きする取組として、今年も「はまだ市民一日議会」を実施します。

はまだ市民一日議会って？

議場において、皆さんが暮らしの中で思われていることを発表していただく場を設けます！
いつもは市長と議員が、浜田市の発展のために議論する議場を、市民の皆さまと議員が向き合う場として活用します。
日ごろ思われているご意見やご要望などを直接発言してみませんか？私たち議員がいただいた意見をもとに、今後の政策提言や議会活動の充実に努めます！

実施日時・会場

日時：令和5年10月22日（日） 午後2時～4時

会場：浜田市役所 5階 議場

※傍聴もできます（定員：55人、定員を超えた場合はロビーにて映像でご覧いただけます）

申込みについて ※申込み期間は終了しました。

発言者	浜田市内に在住、在勤、在学の方
発言内容	浜田市政や浜田市議会に関すること ※1人1件、1つの発言テーマに限ります。
発言時間	1人5分以内
定員	10人（応募多数の場合は、初めて応募される方を優先し、抽選で決定します）
発言への対応	議員が発言内容を確認するために質問することがあります。 いただいた意見の取り扱いは全員協議会で協議し、対応結果を報告します。
確認事項	・当日の様子はYouTubeで録画配信します。 ・報道機関に対して、撮影や取材を許可する場合があります。 ・はまだ議会だよりに当日の写真を掲載します。

申込締切：令和5年9月11日（月） 午後5時必着 ※申込み期間は終了しました。

申込方法：申込書をメール、ファックス、郵送、持参などで浜田市議会事務局まで提出してください。

メールアドレス：gikai@city.hamada.lg.jp

ファックス番号：0855-22-6765

住所：〒697-8501 浜田市殿町1番地 浜田市役所 5階（はまだ市民一日議会係宛）

[チラシ兼申込用紙（PDF／1133KB）](#) [（PDF／1288KB）](#) [申込用紙のみ（Powerpoint／45KB）](#)

申込みに関する注意事項

- 未成年の方が発言される場合、保護者の方なども一緒に登壇していただけます。
- 発言に際し、パソコン、スマートフォンなどの機器の使用はしないでください。

- 発言に伴い、資料の配付を希望される方は、10月10日（火）までに事務局にご連絡ください。なお、印刷等の準備は各自でお願いします。印刷部数については別途お知らせします。
- 応募の際にいただく個人情報、実施に関する連絡などに使用します。
- 報道機関に対して、事前に発言テーマなどの情報提供をする場合があります。また、当日の発言の撮影を許可するため、ご了承の上、ご応募願います。
- 当日の様子をYouTubeで公開、はまだ議会だよりへ写真掲載することにご了承願います。
- 当日は議員、発言者、傍聴者、報道機関などに対し、発言者の氏名及び発言テーマを記載した資料を配布します。
- 手話通訳など手配が必要な場合は、10月10日（火）までにご連絡ください。
- 発言者以外の方（ご家族、ご友人など）で同行者がいる場合は、傍聴席でご覧いただけます。
- 記入に不備がある場合は、内容確認のため、ご連絡させていただきます。
- 申込みは発言者が行ってください。

当日議場での注意事項

次に掲げる行動はしないようにお願いします。

- (1) 個人のプライバシーに関する発言や批判的・中傷的な発言
- (2) 大声で叫ぶ、脅迫的、または罵倒するような発言
- (3) 議会の秩序ある運営を乱すようなその他の言動
- (4) 決められた発言時間の超過
- (5) その他議長が不適切と判断する発言

⇒上記行動があった場合は、議長がその行動を制止し、発言を中止し、退場していただく場合があります。

次のいずれかに該当する方の議場への入室はご遠慮願います。

- (1) 凶器、その他危険物と認められるものを携帯している方
- (2) 酒気を帯びている方
- (3) 異様な服装をしている方
- (4) その他、議事を妨害し、または人に迷惑を及ぼすと認められる方

議場では、議長に発言を許可された場合を除き、静粛を旨とし、次の事項を遵守してください。

- (1) みだりに席を離れない
- (2) 音や光が発生する方法で携帯電話・スマートフォンなどの機器を使用しない
- (3) 飲食及び喫煙をしない
- (4) 言論に対して、公然と可否を表明しない
- (5) 私語・談笑を慎み騒ぎ立てることをしない
- (6) 鉢巻、腕章、たすきなどの着用、または張り紙、旗、垂幕などを掲げる等の示威的行為をしない
- (7) その他議場の秩序を乱し、議事の妨害となる行為をしない

その他、議長及び係員の指示に従うようお願いいたします。

このページに関するお問い合わせ先

浜田市 議会事務局

電話：0855-25-9800 メールアドレス：gikai@city.hamada.lg.jp

お問い合わせフォーム

NO	ぎかいポストに寄せられた意見	所管委員会(案)
1	市長はＴＶ等で市民へ周知や声を聞くと発言されているが、提言ハガキ（添付）も更新されていない。全く市民の声をきく気がないと感じる。市議会ではきちんと民意を市政に反映していただきたいものです。	議会運営委員会
2	アパートの家賃が高いです	産業建設委員会
3	ごみの分別多い	福祉環境委員会
4	スターバックスやここいちなどのお店が、もう少しほしいなと思います	産業建設委員会